

6月24日（月）

大阪プロモーションセミナー及びネットワーキング

ハンブルク商工会議所で、マルテ・ハイネ ハンブルク商工会議所CEO及びアンドレアス・ドレッセル ハンブルク州財務大臣を表敬訪問し、プレ・レセプションが開催され、意見交換ののちゴールデンプックへの署名を行った。

そのあとオースト会頭の挨拶で大阪プロモーションセミナーが始まり、ドレッセル財務大臣の挨拶に続いて、横山市長から、国際金融都市の取り組みや万博の取り組み状況などについてのプレゼンが行われた。横山市長のプレゼンに引き続き、ステファン・マッツ ハンブルク・インベスト理事長のプレゼンや大阪企業の紹介が行われた。

大阪プロモーションセミナーのあと、ネットワーキングランチで各企業の方々とそれぞれ意見交換を行った。

（横山市長によるプレゼンの様子）



（セミナーを聴く代表団の様子）

ハンブルク市庁舎見学

ハンブルク市庁舎は市のシンボルとしてまちの中心地に位置し、市庁舎広場では一年を通して様々なイベントが催され、多くの市民や観光客で賑わっている。この庁舎は多くの建築家たちによって手掛けられたネオルネッサンス様式の建物であり、まちのシンボルとなるような112mにも及ぶ塔だけでなく、外観を埋め尽くすほど多くの彫像などがあり、非常に豪華なつくりの建物となっている。

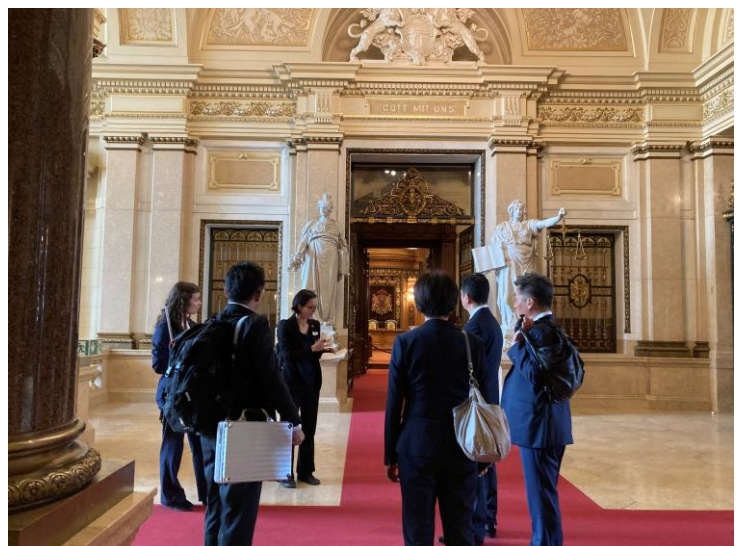
ハンブルク旧市街の大部分に広がった1842年の大火災（ハンブルク大火）によって旧市庁舎も被災し、その後、1886年から1897年にかけて、マルティン・ハラー率いる7人の建築家たちによって再建された。様々な建築様式を用いた647室もの部屋と、中庭にあるヒュギエイア（ギリシャ神話の女神）の噴水は、海外貿易により栄えたハンブルクのまちの豊かさを彷彿とさせる。

市議会の多くの議員が兼業しているため、会議は午後から夜にかけて開催される。これは他の都市では見られない独自の制度である。



（市庁舎外観）

（市庁舎の説明を受ける代表团）



ハンブルク市長表敬訪問

ペーター・チェンチャー市長を表敬訪問し、意見交換のあとゴールデンブックへ署名を行った。ハンブルク市のゴールデンブックへの署名は、最近ではチャールズ英国王がされており、大統領や市長等の貴賓が招待されている。意見交換では、ハンブルクにおける水素エネルギーへの転換及び大阪・関西万博などについて話し合った。チェンチャー市長からは、来年の大阪・関西万博の成功への期待が表せられ、双方の一層の連携強化を確認した。

【チェンチャー市長 挨拶要旨】

ここ5年ほどコロナや戦争などで世の中が非常に変わってしまいとても心配であった。日本という国は非常に豊かであり、そういった状況下でも挑戦し前に向かって進んでいる。企業の活動やお互いの経済的な協力を発展させるだけでなく、いろんな分野での拡大を目指している。代表団のみなさまが来てくださって感謝している。将来的にも互いに目標に向かって学びつつ、実りの多い交流となることを望んでいる。

【横山市長 挨拶要旨】

この度はハンブルク市に温かくお迎えいただき、心より感謝申し上げる。私にとって、はじめてのハンブルク訪問である。ハンブルクは経済・産業の中心地であり、また豊かな水と緑につつまれ、都市景観の美しさに感銘を受けている。大阪市とハンブルク市とは、1989年友好都市提携及び2019年にはビジネスパートナー都市提携を締結し、経済・文化・教育・スポーツなど幅広い分野で交流を重ねてきた。今回の訪問では、早速、昨日はジャパンフェスティバルへ参加させていただき、今朝ビジネスセミナーを開催した。また、国際金融都市に向けた取り組みについての意見交換やクリエイティブ産業及びスタートアップ関連の施設を視察し、大阪との同分野での交流促進について意見交換を行う予定である。また、ヘルスケア・医療と環境関連の在阪企業にも同行いただいております。現在、商工会議所において、ハンブルクの企業の方々とビジネス交流を実施している。今後も、様々な分野の交流についても深めてまいりたい。いよいよ来年には、大阪・関西万博が、大阪のバイエリア「夢洲」で、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして開催される。ぜひチェンチャー市長はじめハンブルク市民の皆様にもお越しいただきたい。

【竹下議長 挨拶要旨】

本日はペーター・チェンチャー市長にお会いできることを大変楽しみにしていた。心温まる歓迎に心からお礼申し上げます。友好都市提携35周年という節目を迎えるにあたり、私たちはこれまでの交流の成果とその意義を改めてここに確認するとともに、

新たな時代にむけて、両都市の絆が今まで以上に緊密なものとなり、友好関係がより一層発展することを祈念する。また、来年には大阪・関西万博が開催されるので、ぜひ、チェンチャー市長にも大阪へお越しいただき、活力あふれるその姿と大阪の「おもてなし」を感じていただきたい。大阪で再びお会いできることを楽しみにしている。



(ゴールドデンプックへの署名)



(チェンチャー市長・総領事と代表団)

ハンブルク市主催レセプション

チェンチャー市長への表敬訪問のあと、会場を移してハンブルク市主催のレセプションが開催された。

チェンチャー市長、横山市長の挨拶のあと、ハンブルク少年合唱団によって「ふるさと」を披露していただいた。そのあと竹下議長の挨拶があり、もう一度、同合唱団の素敵な歌声でレセプションを盛り上げていただいた。

非常に多くの方が出席されており、参加者同士それぞれ意見交換や交流を行った。この場でもミャクミャクが登場し、しっかり大阪・関西万博のPRを行った。

【横山市長 挨拶要旨】

本日は、ペーター・チェンチャー市長はじめ、ハンブルク市役所の主催で、このように盛大にレセプションを開催していただき、心からお礼を申し上げる。また、本日もご出席の皆様には、日頃から大阪市とハンブルク市の姉妹都市交流にご理解、ご協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。友好都市提携35周年という記念すべき節目に、市会代表団や企業等の皆様とハンブルク市を訪れることができ、皆様にこのように温かくお迎えいただいたことを大変うれしく思っている。また、クリエイティブ産業及びヘルスケア関連スタートアップ施設の視察や企業訪問により大阪との同分野での交流促進について意見交換を行う予定である。先ほどチェンチャー市長からご紹介があったが、大阪では来年、大阪・関西万博が開催される。この万博では、非常に緊迫感の高まる今の世界情勢の中でもう一度世界が一つになる。そして私たちが乗り越えなければいけない壁、平和に向けての大きな挑戦が、地球温暖化という大きな課題に向けて、地球が、それぞれの国が一つになる。そうなるように、ぜひ大阪・関西万博では協力したいと思っている。皆様方には少し遠いがぜひ大阪にお越しただいて、そして現地で様々な技術やテクノロジーに触れていただきたい。ハンブルクと同様に大阪も食が大好きなまちである。ハンブルクへ来る前に、「ぜひフィッシュバーガーを食べて」と言われて実際にいただいたが最高に美味しかった。大阪にもたこ焼きという文化がある。大阪でぜひ味わっていただきたい。ハンブルクと大阪のまちな友情関係がこれからも永遠に続くことを心から祈念する。

【竹下議長 挨拶要旨】

本日は、このように盛大なレセプションを開催していただき、心からお礼申し上げます。このたび大阪・ハンブルク友好都市提携35周年という節目の年ということで、大阪市代表団とともに大阪市会代表団として訪問させていただいた。昨日は、港湾ポートツアーや噴水ショー、エルプフィルハーモニーなどを視察し、ハンブルクの都市景観の美しさに大変感銘を受けた。また、ハンブルクの人々の温かい人柄も体感してい

る。私どもの住む大阪も、人情にあふれた温かいまちであり、両市の市民が今まで以上に交流を深め、友好関係がより一層進展することを期待している。来年は大阪・関西万博が開催される。皆様には、ぜひこの機会に大阪へお越しいただき、活力あふれる大阪を感じていただきたい。万博のテーマは「いのち輝く未来都市のデザイン」であり、この万博の企画段階においては、この万博に来ていただいたら5年、いや10年寿命が延びると言われる万博にしようということで始めた。ぜひ皆様にお越しいただき健康寿命を延ばしていただきたい。ハンブルク市と大阪市の今後ますますの発展と友情、そしてご臨席の皆様の健康を祈念する。



(議長挨拶)

(意見交流)



ハンブルク市議会議長表敬訪問及び意見交換

2020年2月に選挙が行われ、第22期のハンブルク市議会は123名の議員で構成されており、任期は5年である。また、都市内分権制度として区議会制度を採用している。

議員は名誉職であり、議会や委員会、ワーキンググループ、議員連盟の会議は午後や夕方に行われる。ハンブルクは市であるとともに州でもあるため、ハンブルク市議会では、基本的にドイツの州議会の権限も有している。

レセプションのあと、マルコ・ヴィースナー議会儀典長案内のもと、同じ建物内にある議場の見学を行った。議場は木が多く使われており、非常に格式が高く厳かな雰囲気であった。また、子どもたちに議会や議員の仕事に関心を持ってもらえるよう、年代ごとに見学会を開催したり、絵本やビデオなどを作成し広報活動を積極的に行っているとのことだった。



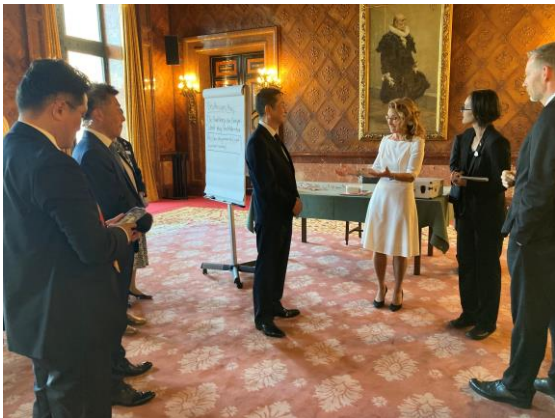
(議場を見学する代表団)

議場見学に続いて、カローラ・ファイト議長を表敬訪問し意見交換を行った。そのあとゴールデンブックへの署名、記念品交換、記念撮影を行った。

【意見交換の主な内容】

ファイト議長からは、ハンブルク市をオリンピックの開催地として立候補するにあたって住民投票で否決されたことから、大阪・関西万博に強い関心を示されており、候補地として立候補するにあたって市民からの反対はなかったのかなど熱心に質問された。

また、互いの選挙制度の違いや、議席の決め方などについて意見交換が行われ、その中でも、議員の役割は市民の意思を反映することが目標であるという点については共通していることを確認した。



(ファイト議長と意見交換する代表団)



(竹下議長とファイト議長)